

(11) 地点 11 高ボッチ山

① 地点の概要

地点名	11 高ボッチ山		
地点の全景	平成 28 年 11 月 16 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 15:11/天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 11.5km	事業地の方角	南東
	事業地中心付近まで 12.8km	標高	1,664m
眺望の対象	八ヶ岳、霧ヶ峰、富士山、南アルプス、諏訪湖、諏訪盆地等		
眺望点の状況	高ボッチ山山頂付近の広場となっている。山頂全体の眺望が良く、この地点について眺望のための施設等は整備されていない。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 11.5km 離れている。遠景に諏訪盆地と諏訪湖、それを囲むように八ヶ岳連峰、富士山、南アルプスを望む絶景ポイントであり、写真愛好家も多く訪れている。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。高ボッチ山頂上周辺は草場が広がり、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があり、アクセス道路は冬季閉鎖となる。		
位置図			

図 4-12-22 地点 11 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-23 地点 11 の眺望の状況

(12) 地点12 ピラタス蓼科スノーリゾート

① 地点の概要

地点名	12 ピラタス蓼科スノーリゾート			
地点の全景	平成 29 年 2 月 16 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 11:23/天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	13.4km	事業地の方角	北西
	事業地中心付近まで	14.2km	標高	1,921m
眺望の対象	中央アルプス、御嶽山、北アルプス、霧ヶ峰など			
眺望点の状況	ピラタス蓼科スノーリゾート内のゲレンデである。眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 13.4km 離れている。ピラタス蓼科スノーリゾートのスキー場内にあり、利用は冬季に限られる。ゲレンデは南西方向に延びており、西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス及び北西方向の霧ヶ峰方面の眺望が良い。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。			
位置図				

図 4-12-24 地点 12 の概要

② 焦点距離別の眺望の状況

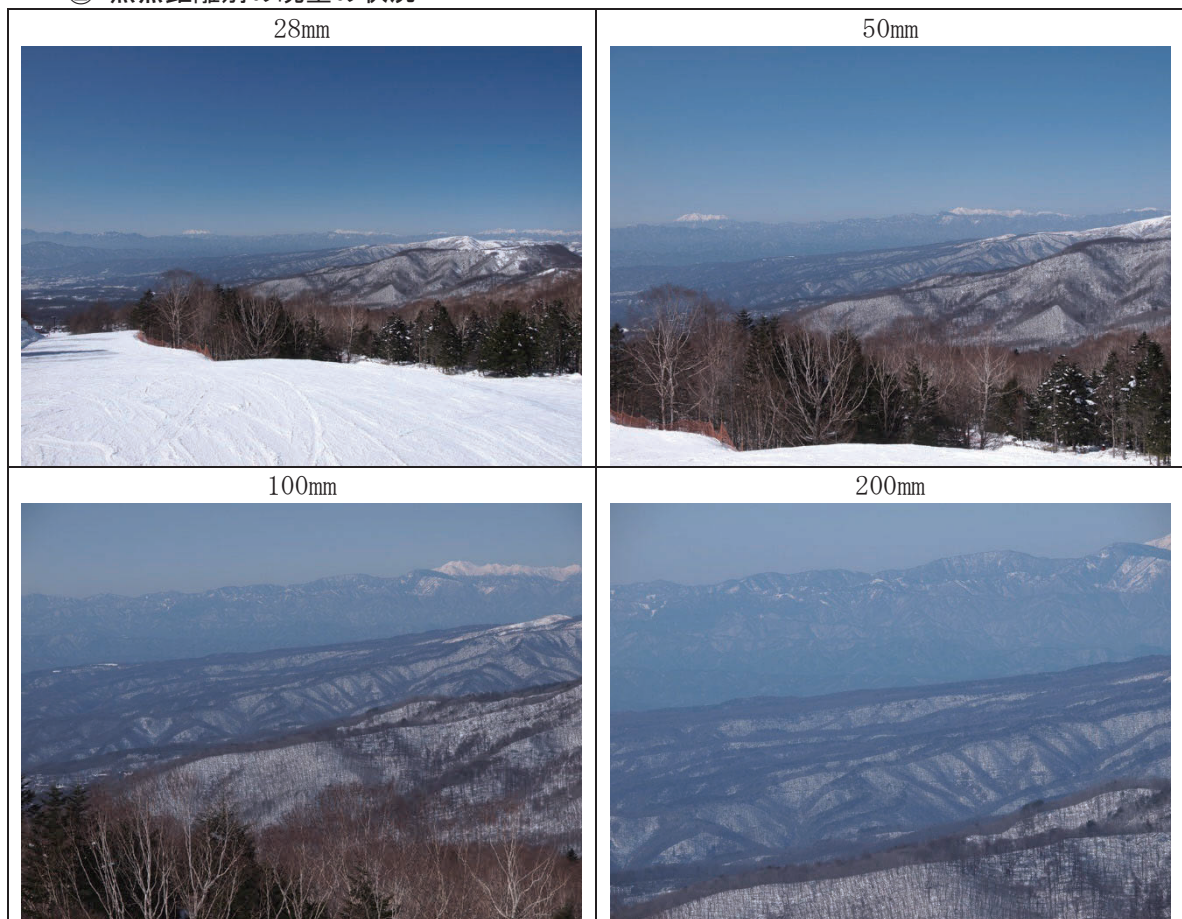


図 4-12-25 地点 12 の眺望の状況

※施設利用は冬季のみであるため、調査は冬季のみ実施した。

(13) 地点13 北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅

① 地点の概要

地点名	13 北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅		
地点の全景	平成 28 年 11 月 5 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 10:38/天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 14.6km	事業地の方角	北西
	事業地中心付近まで 15.5km	標高	2,230m
眺望の対象	中央アルプス、御嶽山、北アルプス、諏訪盆地等		
眺望点の状況	山頂駅の駅舎に隣接して、展望デッキが整備されている。ロープウェイ駅舎から階段等を昇らずに利用できる。展望案内板が設置されており、多くのロープウェイ利用者が利用している。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 14.6km 離れている。亜高山帯に位置する。西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス方面が望める。山頂駅にはロープウェイを利用して四季を通じて到達することができるものの、展望台は冬期間は閉鎖となる。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。無雪期は亜高山帯針葉樹林と、点在する草地の緑が濃くなる。		
位置図			

図 4-12-26 地点 13 の概要

② 焦点距離別の眺望の状況



図 4-12-27 地点 13 の眺望の状況

※眺望的利用の最も多い秋季のみ調査を実施した。

(14) 地点14 北八ヶ岳 (横岳)

① 地点の概要

地点名	14 北八ヶ岳 (横岳)			
地点の全景	平成 28 年 11 月 5 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 18mm / 時間 12:13 / 天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	14.4km	事業地の方角	東南東
	事業地中心付近まで	15.1km	標高	2,825m
眺望の対象	中央アルプス、御嶽山、北アルプス、霧ヶ峰、諏訪盆地			
眺望点の状況	横岳山頂付近の広場となっている。山頂全体の眺望が良く、この地点について眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 14.4km 離れている。標高 2,800m を越える亜高山帯に位置する。西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス及び北西方向の霧ヶ峰方面の眺望が良い。高標高地であることから、年の半分近くは積雪がある。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。無雪期は亜高山帯針葉樹林と、点在する草地の緑が濃くなる。			
位置図				

図 4-12-28 地点 14 の概要

② 焦点距離別の眺望の状況



図 4-12-29 地点 14 の眺望の状況

※眺望的利用の最も多い秋季のみ調査を実施した。

(15) 地点 15 八ヶ岳連峰 (赤岳)

① 地点の概要



地点名	15 八ヶ岳連峰 (赤岳)			
地点の全景	平成 28 年 10 月 12 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 28mm/時間 9:56/天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	21.7km	事業地の方角	北西
	事業地中心付近まで	22.5km	標高	2,899m
眺望の対象	中央アルプス、御嶽山、北アルプス、霧ヶ峰、諏訪盆地、諏訪湖等			
眺望点の状況	赤岳山頂は狭い。眺望が良く、この地点について眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 21.7km 離れている。八ヶ岳の最高峰である赤岳頂上からは、360° のパノラマが得られ、富士山、南アルプス、中央アルプス、御嶽山、北アルプス、霧ヶ峰など多くの山岳が望める。3,000m 近い高標高地であることから年の半分近くは積雪があり、無雪期の登山は、7 月下旬から 10 月上旬に限定される。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。赤岳周辺は切り立った岩塊が多く、高山植物も見られる。			
位置図				

図 4-12-30 地点 15 の概要

② 焦点距離別の眺望の状況

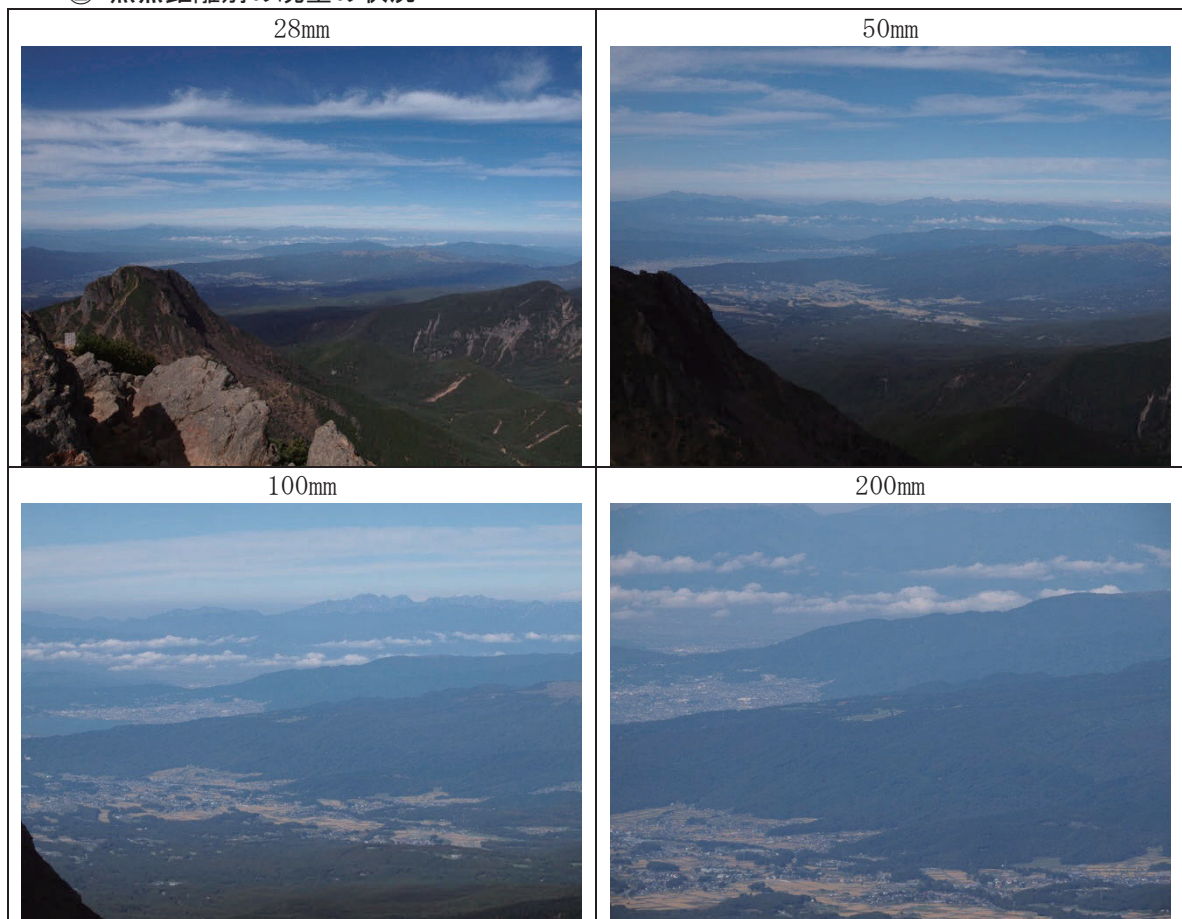


図 4-12-31 地点 15 の眺望の状況

※眺望的利用の最も多い秋季のみ調査を実施した。

12-2 予測及び評価の結果

1. 予測の内容及び方法

景観に係る予測の内容及び方法についての概要を表 4-12-4(1)、(2)に示す。

1) 予測の内容

対象事業の影響要因を踏まえ、工事中における土地造成（切土・盛土）、樹木の伐採及び廃材・残土等の発生・処理、供用時における建築物・工作物等の存在による景観への影響について予測を行った。

2) 予測地域及び地点

予測地域は対象事業実施区域及びその周辺とし、予測地点は景観の現地調査地点 15 地点のうち、眺望及び利用の状況等から、表 4-12-5(1)、(2)及び図 4-12-32 に示す 7 地点を対象とした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、工事中における土地造成（切土・盛土）、樹木の伐採及び廃材・残土等の発生・処理については、それぞれが最大となる時期、供用時における建築物・工作物等の存在については太陽光発電施設が定常的に稼働する時期とした。

表 4-12-4(1) 景観に係る予測の内容及び方法（工事による影響）

影響要因の区分		予測事項	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期
工事による影響	土地造成(切土・盛土)	景観・景観資源及び構成要素 ・主要な景観	直接的・間接的影響による変化の程度又は消滅の有無について、対象事業計画との重ね合わせ、フォトモンタージュ法、類似事例等により予測	景観資源・構成要素： 対象事業実施区域及びその周辺 主要な景観： 調査地点に準じる	工事中及び工事完了後
	樹木の伐採				
	廃材・残土等の発生・処理				

表 4-12-4(2) 景観に係る予測の内容及び方法（存在・供用による影響）

影響要因の区分		予測事項	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期
存在・供用による影響	地形改変、樹木伐採後の状態、工作物の存在、緑化	景観資源及び構成要素	直接的・間接的影響による変化の程度又は消滅の有無について、事業計画との重ね合わせ、フォトモンタージュ法により予測	対象事業実施区域及びその周辺	施設が定常的に稼働する時期
		主要な景観		調査地点に準ずる	

表 4-12-5(1) 景観に係る予測地点の選定結果

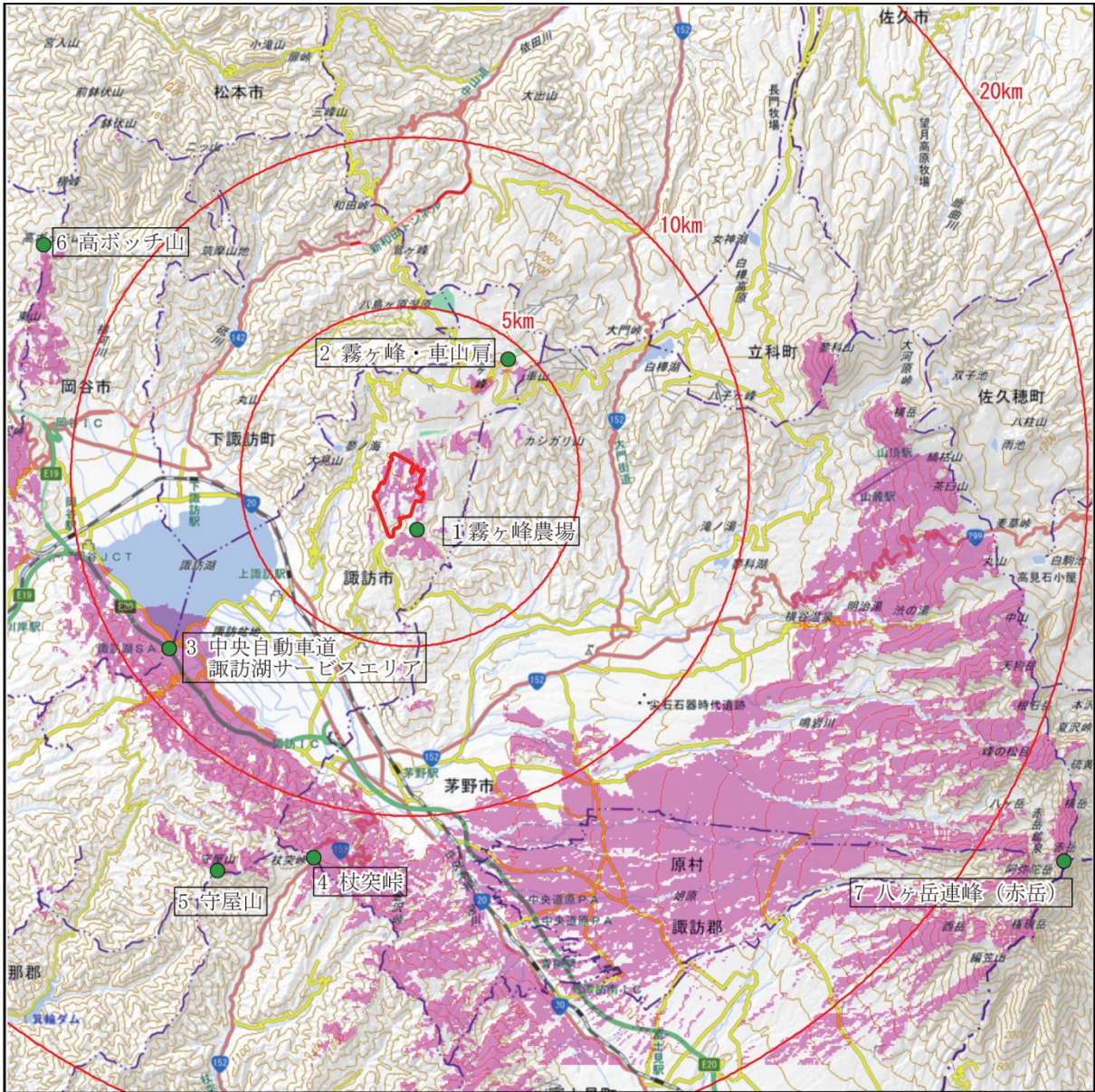
地点番号	地点名	対象事業実施区域までの距離 ^注	俯角	可視領域を加味した水平角(°)	可視領域を加味した垂直角(°)	予測実施地点	理由
1	霧ヶ峰農場	中景 (0.5～3km)	3.0	80.3	3.2	○ 予測地点 1	対象事業実施区域から唯一、比較的近い距離で対象事業実施区域方面が眺望できる地域であることから対象とする。
2	別荘地内 (ビバル デの丘)	中景 (0.5～3km)	-5.4	25.7	0.1	—	対象事業実施区域に近く、主要な眺望の方向と重なるものの、利用が別荘住民に限定されることから対象としない。
3	霧ヶ峰 ・車山肩	遠景 (3～10km)	-4.6	7.5	0.4	○ 予測地点 2	ビーナスライン沿いにあり、アクセスが容易であることから利用者が多い。眺望地点となっており、対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
4	車山頂上	遠景 (3～10km)	-5.2	11.5	0.1	—	利用者は多いが、より簡単にアクセスできる霧ヶ峰・車山肩とほぼ同じ眺望となるため、霧ヶ峰・車山肩に代表させ、対象としない。
5	中央自動車道諏訪湖サービスエリア	遠景 (3～10km)	4.2	11.8	0.6	○ 予測地点 3	中央自動車道の主要な SA であり、多くの利用者がある。諏訪湖方面の眺望地点にもなっており、対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
6	諏訪湖畔公園	遠景 (3～10km)	4.1	11.9	0.2	—	市民による利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業面積に占める可視領域の割合が少ない。可視領域の分布が諏訪湖 SA とほぼ同じであり、利用状況も諏訪湖 SA と比べて少ないことから、諏訪湖 SA に代表させ、対象としない。
7	杖突峠	遠景 (3～10km)	1.2	8.0	1.3	○ 予測地点 4	観光客等の利用があり、展望台から対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
8	鳥居平 やまびこ公園	遠景 (10km～)	2.0	9.9	0.9	—	市民の利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、10km 離れている上、事業面積に占める可視領域の割合が少ないことから対象としない。

注) 近景・中景・遠景:影響調査における景観については、視点場からの距離により、近景(視点場からの距離が概ね0.1km～0.5km)、中景(視点場からの距離が概ね0.5km～3.0km)、遠景(視点場からの距離が概ね3.0km～)の3つに分類されている。

表 4-12-5(2) 景観に係る予測地点の選定結果

地点番号	地点名	対象事業実施区域までの距離 ^注	俯角	可視領域を加味した水平角(°)	可視領域を加味した垂直角(°)	予測実施地点	理由
9	茅野市 玉川泉野	遠景 (10km～)	1.6	7.4	0.6	—	平地から事業地が見える数少ない場所ながら、主要な眺望の方向からは外れているため、眺望の対象となりづらい。また、距離も 12.1km 離れているため、対象としない。
10	守屋山	遠景 (10km～)	-1.2	6.3	1.2	○ 予測地点 5	登山などの利用があり、頂上からは対象事業実施区域方面が眺望できるため対象とする。
11	高ボッチ山	遠景 (10km～)	-1.2	8.3	0.8	○ 予測地点 6	八ヶ岳中信高原国定公園に指定されている。利用者は少ないが、自動車で山頂まで容易にアクセスでき、写真愛好家にも有名な場所である。山頂からは対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
12	ピラタス 蓼科スノーリゾート	遠景 (10km～)	-2.1	8.6	0.9	—	スキー・スノーボードなどの利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業予定地まで 13.4km 離れていることから対象としない。
13	北八ヶ岳 ロープウェイ山頂駅	遠景 (10km～)	-3.1	8.4	0.9	—	観光等の利用があり、山頂駅からは事業予定地方面が眺望できるが、対象事業実施区域まで 14.6km 離れていることから対象としない。
14	北八ヶ岳 (横岳)	遠景 (10km～)	-3.6	6.3	0.7	—	登山の利用があり、頂上からは事業予定地方面が眺望できるが、対象事業実施区域まで 14.5km 離れている。八ヶ岳連峰(赤岳)に代表させるため対象としない。
15	八ヶ岳連峰 (赤岳)	遠景 (10km～)	-3.8	5.4	0.8	○ 予測地点 7	登山の利用があり、頂上からは対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業予定地まで 21.7km 離れている。しかし、八ヶ岳全山を代表する場所かつ標高が最も高い場所であることから、山岳地の眺望地点の代表として対象とする。

注) 近景・中景・遠景: 影響調査における景観については、視点場からの距離により、近景(視点場からの距離が概ね 0.1km～0.5km)、中景(視点場からの距離が概ね 0.5km～3.0km)、遠景(視点場からの距離が概ね 3.0km～)の 3 つに分類されている。



凡 例

対象事業実施区域

● 景観予測地点

可視範囲

(対象事業実施区域の上部で尾根上に位置するもっとも見えやすい場所が見える範囲を示す)

図 4-12-32

景観に係る予測地点



0 2 4 6 8 km

1:200,000

2. 工事中における土地造成・樹木の伐採等に伴う景観への影響

1) 予測項目

予測項目は、土地造成（切土・盛土）、樹木の伐採及び廃材・残土等の発生・処理に伴う景観資源・構成要素及び主要な景観の変化への影響とした。

2) 予測地域及び地点

予測地域及び地点は、景観の現地調査地点 15 地点のうち、表 4-12-5(1)、(2)及び図 4-12-32（4-12-39 頁参照）に示す 7 地点を対象とした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、土地造成（切土・盛土）、樹木の伐採及び廃材・残土等の発生・処理が最大となる 20 ヶ月目とした。

4) 予測方法

直接的・間接的影響による変化の程度又は消滅の有無について、事業計画との重ね合わせ、フォトモンタージュ法により予測した。

5) 予測結果

(1) 景観資源・構成要素

景観資源・構成要素に対しては直接的な改変が生じないため、景観の変化等の影響は発生しない。

(2) 主要な景観

予測地点からの景観の変化の状況は、表 4-12-6 及び図 4-12-33(1)～(7)に示すとおりである。

表 4-12-6 予測地点からの景観の変化の状況

予測地点	景観の変化の状況
1 霧ヶ峰農場	現況では農地の辺縁部に立ち並ぶカラマツ林の後背地に、樹木に覆われた斜面が垣間見えており、遠景はほぼ緑に覆われている。工事中は、農地の辺縁部の樹林は変化しないものの、後方の斜面の一部が伐採されて裸地が出現するため、人工的な景観へ変化すると予測する。
2 霧ヶ峰・車山肩	現況では、草原と樹林に覆われた緩やかな斜面と谷が後方へ続いている。工事中は、谷状の奥に見える斜面の一部が伐採されて裸地が出現するものの、距離が4km程度あること、水平角が7.5°程度と小さいこと、また南側であり逆光となる時間帯が多いことなどから、景観の変化は小さいものと予測する。
3 中央自動車道諏訪湖サービスエリア	現況では、眼下には諏訪湖と水田や市街地、遠景は霧ヶ峰から諏訪盆地へ下る斜面と、その後方に八ヶ岳連峰が望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える程度であること、主要な眺望対象から外れていることから、景観の変化は小さいものと予測する。
4 杖突峠	現況では、諏訪盆地から霧ヶ峰・車山に至る斜面が山地の森林としてまとまっている。工事中は、標高が比較的高い範囲の森林の一部が伐採されて裸地が出現するものの、距離が約10kmあること、主要な眺望対象から外れていることから、景観の変化は小さいものと予測する。
5 守屋山	現況では、諏訪盆地から霧ヶ峰・車山に至る斜面が山地の森林としてまとまっている。工事中は、標高が比較的高い範囲の森林の一部が伐採され、霧ヶ峰の草原の手前に裸地が出現するものの、距離が約11kmあること、水平角が6.3°と小さいことから、景観の変化は小さいものと予測する。
6 高ボッチ山	現況では、諏訪盆地から霧ヶ峰・車山に至る斜面が山地の森林としてまとまっている。工事中は、標高が比較的高い範囲の森林の一部が伐採され、八ヶ岳連峰の手前に裸地が出現するものの、距離が約11kmあること、可視範囲が尾根状の一部分に限られることから、景観の変化は小さいものと予測する。
7 八ヶ岳連峰（赤岳）	現況では、茅野市北大塩地区の集落・農耕地と諏訪湖の間を霧ヶ峰・車山から延びる斜面が緑のまとまりとなっている。工事中は、この森林の標高が比較的高い範囲の一部が伐採され、北アルプスの手前に裸地が出現するものの、距離が約21kmあること、水平角が5.4°と小さいことから、景観の変化は小さいものと予測する。